

ひとつのちいさなのばらが、
はるのひにはなをひらきまし
た。それは、やまのすそに、ひ
っそりとさいっていました。のば
らは、やさしくかぜにゆれ、あ
さつゆをあびながら、においを
ただよわせていました。

おがわみめい「のばら」より